

府内市町村の動き

堺市

■ 堺市は、2月から堺区役所市民課前に住民票の写しなどを取得できる自動交付機を設置した。

これは、印鑑登録証やさかい市民カードなどを利用することで、平日の時間外や、土・日・祝日でも証明書の交付を受けることができるようになるもの。利用にはあらかじめ区役所市民課で暗証番号を登録する必要がある。

自動交付機では、印鑑登録証明書や住民票の写しだけでなく、外国人登録原票記載事項証明書も取得できる。

市では今後、他の区役所でも設置を検討し、更なる市民の利便性向上を図りたい考え。

自動交付機



高槻市

■ 高槻市教育委員会は、「推薦図書100冊」の選定に着手する。

これは、文部科学省が、子どもの読書活動の推進を目的として実施する「子ども読書の街」事業の指定を受けた取組の一環として行われるもの。小中学生に読んでもらいたい「わたしの一冊」を市民から幅広く募集する。

児童生徒や保護者等から意見を集め、教員やPTA代表らで組織された「子ども読書のまち推進委員会」が選定するほか、選定された推薦図書を基にした読書感想文コンクールなどを予定している。

市ではこの取組を通じて、子どもたちに読書の楽しさを体験させ、読書習慣の確立に努めたい考え。

枚方市

■ 枚方市は、中宮浄水場から田口山配水場への送水ルート之二重化や給水用バルーンの避難所への配備を進める。

これは、災害時において飲料水を確保できる危機管理体制を強化するためのもの。老朽化の進んでいる既設送水管とは別に送水ルートを新設し二重化することで、緊急時におけるバックアップ機能を確保することができるよう、平成24年度の供用開始を目指す。

また、折りたたみ式の給水用バルーンは、約330人の1日分の飲料水にあたる1,000リットルの水が備蓄可能で、平成21年度までに順次配備していく予定。

市ではこの取組を通じて、大規模災害に備えた考え。

給水用バルーン



八尾市

■ 八尾市立曙川東小学校が、地域の環境美化に寄与している小・中学校などを表彰する「環境美化教育優良校表彰事業」のリサイクル活動部門で環境大臣賞を受賞した。

同校では、平成17年度から全校を挙げてアルミ缶の回収をスタートした。その収益金で、花や野菜の苗などを購入し校内の美化を図り、子どもたちが環境問題を身近な問題として気付くような風

土を培ってきた。

また、給食の生ごみ・残飯の堆肥化を図り、それを用いて校内の畑でスイカやメロンなどを栽培・収穫している。

市内学校園では、環境美化に取り組んでおり、今後、地域と一緒に、さらに取組を推進したい考え。

全国の市町村の動き

三重県いなべ市

- いなべ市は、「Innerbay（いなべ）ミュージックビデオコンテスト in YouTube」をスタートした。

インターネット無料動画サイト「ユーチューブ」上で、同市のイメージを連想させる音楽ビデオを募集する。テーマは「豊かな自然」や「ふれあう人々」など4種類。

参加賞として先着1,000人に「ロゴ入りTシャツ」が、入賞者には賞金総額4,000ドルと副賞が贈られる。

市ではこの取組を通じて、市の魅力を広くPRしていきたい考え。

島根県斐川町

- 斐川町は、「斐川町ホームページフォトコンテスト」を行っている。

これは、同町の景色やイベントなど、町の魅力を紹介する写真を毎月公募し、優れた写真を町ホームページのTOP画像として使用するもの。

町内外・プロ・アマを問わず誰でも応募可能で、未発表のものであれば一人何枚でも応募できる。

町ではこの取組を通じて、町の魅力を広くアピールしていきたい考え。

斐川町HP：

<http://www.town.hikawa.shimane.jp/>

佐賀県武雄市

- 武雄市は、市ホームページで「ゆずります・ゆずってください情報コーナー」を公開している。

これは、市民から寄せられた不用品情報を掲載し、リサイクル品の有効活用をはかろうとするもの。

登録された情報は、市ホームページだけでなく、市内の支所や公民館でも文書で閲覧できる。不用品の持ち主だけでなく、譲って欲しい物品がある人が、希望する物品情報を掲載することもできる。

市ではこの取組を通じて、ごみの減量化をはかるとともに、リサイクル意識の醸成につなげたい考え。

熊本県山鹿市

- 山鹿市は、市の観光名所を巡る「山鹿一周すろく」を掲載した広報紙を発行した。

これは、2005年1月に1市4町が合併して誕生した同市の一体感の醸成や、家族が一緒になって楽しめることなどを目的として掲載したもの。

1マス毎に、特産品や観光名所が紹介されている。また、広報紙を手に実際に観光地を回ることを想定してマスが配置されており、ドライブ用の地図としても利用できる

市ではこの取組を通じて、ふるさとへの関心を高めてもらいたい考え。

